

書体のアウトライン化

書体は全てアウトライン化して下さい

アウトライン化せずに入稿すると文字化けなどが起こります

あいうえお

画像の解像度

解像度は 350dpi 以上が適切です

解像度が低いと見た目が粗くなってしまいます



解像度 350dpi



解像度 72dpi

塗り足し

仕上がりから出るイラストや画像などは必ず塗り足しが必要です

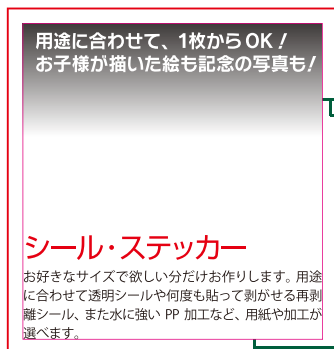
仕上がりよりも 3mm 以上塗り足しを付けて下さい



塗り足し 3mm 以上

文字の切れ

文字などが仕上がりに近い場合、仕上げる際に切れてしまいます
仕上がりによりも最低 2mm は内側にデザインして下さい



白フチ

白フチを付ける場合、仕上がりによりも最低 2mm は内側にデザインして下さい
余白は多く付ける方がズレが目立ちにくくなります



抜き型について

小さい・細かい抜き型は抜きが出来ない場合があります

鋭角な抜き型は、めくる時に破れやすくなります

鋭角な部分を無くし、滑らかな曲線にしてください



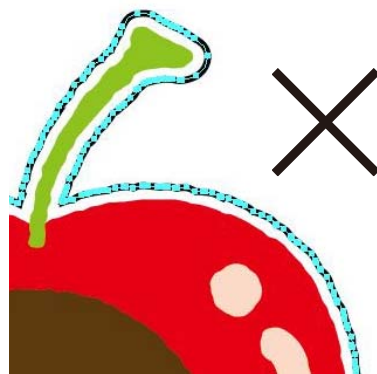
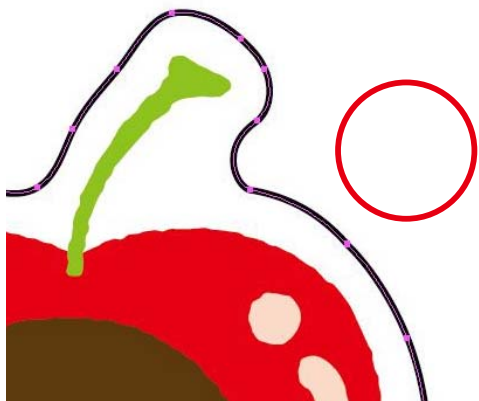
- 抜きが滑らか
- 余白が適度にある



- × 抜きが鋭角
- × 余白が無い

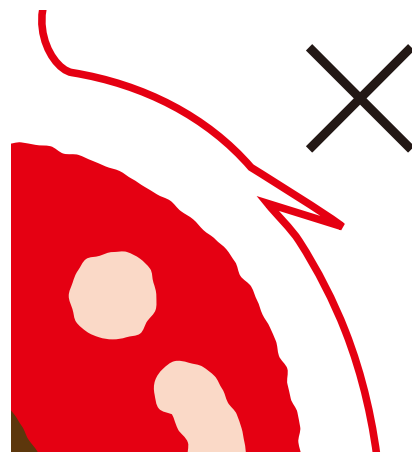
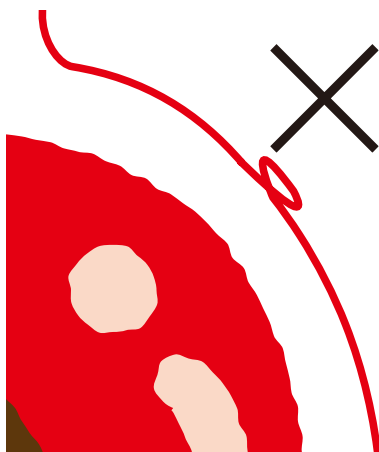
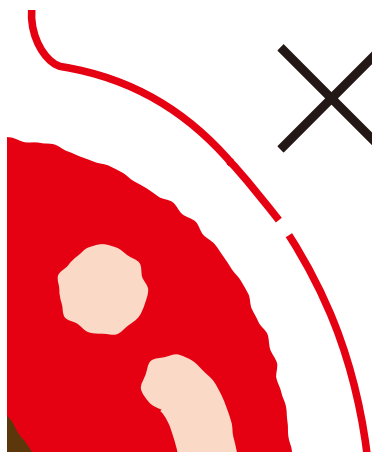
パスが多い抜き型はキレイな仕上がりになりません

出来る限りパスを減らしてください



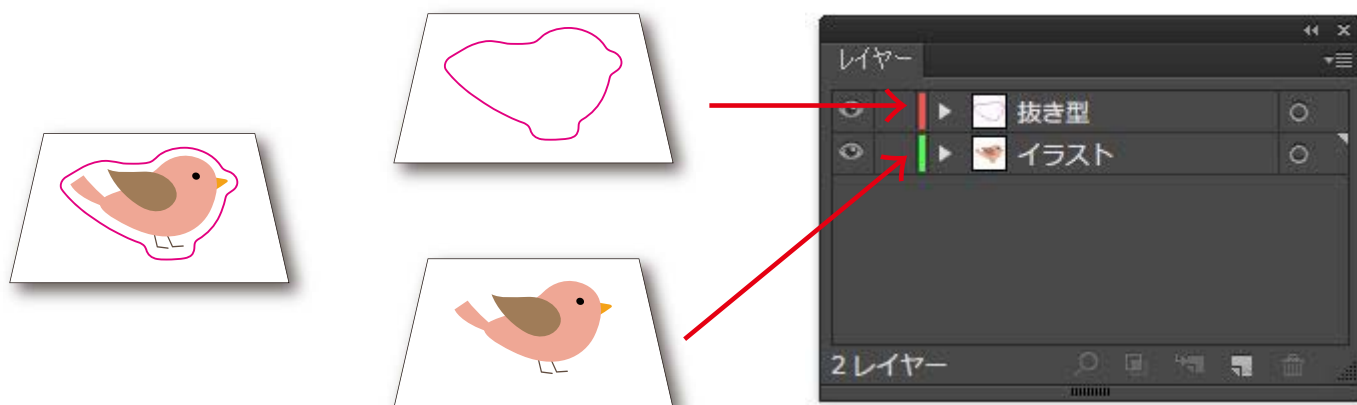
抜き型は一筆書きで作成してください

一部でも繋がっていない・ねじれている場合、周りと繋がって剥がれなくなります



レイヤーについて

デザインと抜き型は必ず別レイヤーで制作して下さい

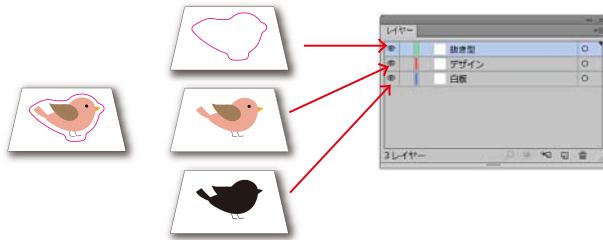


白版データについて

白版はなぜ必要か

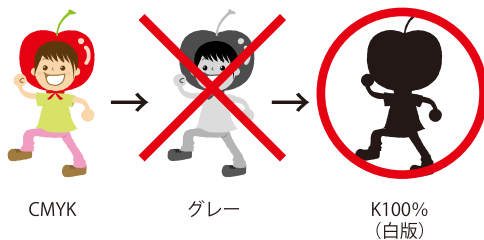
透明な素材を使用する場合、地色が白ではなく透明なため背景が透けてしまいます
背景を透けないようにするために白版が必要になります
白インクを使用することで背景が透けにくくなり、目立たせる事が出来ます

レイヤーの分け方



抜き型とデザインと白版は必ず別レイヤーで作成して下さい

白版の作り方

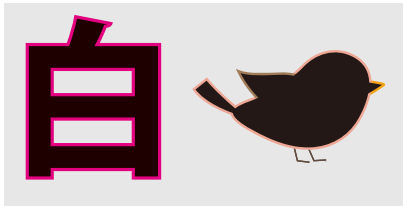


白版は透明や0%やグレーでの作成は不可です

白版は必ず黒 (K100%) で作成して下さい

※白インクはグラデーションを綺麗に表現出来ないためおすすめはいたしません

絵柄と白版を重ねた時のイメージ (黒=白版)



※分かりやすいように通常より白版を内側に作成しています

白版はカラーのオブジェクトよりも **0.1mm 内側**に白版を作成して下さい

※白版を内側に作成していない場合、絵柄から白がはみ出てしまいます

白版を作る場合は、オブジェクトを白版レイヤーにコピーして同じ位置にペースト



イラストなどを1つのオブジェクトにしたい場合

「パスファインダー」の「合体」で1つのオブジェクトになります



白版を内側に作成する場合

「オブジェクト」→「パス」→「パスのオフセット」でオフセット幅を「-0.1mm」に設定



印刷後のイメージ



「白版なし」と「白版あり」のイメージ

※後ろに水色の紙を置いた場合の見え方



白版なしの場合

白インクを使用しない場合は
後ろが透けます



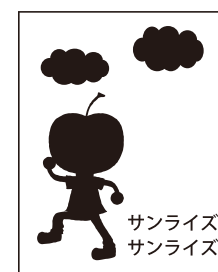
一部 白版ありの場合 《絵柄+白版》

文字とイラストの後ろと
白で表現したい場所に
白を使用した場合、
白を使用していない場所は後ろが透けます



全面白版ありの場合

後ろは透けませんが
全面が白なので
白で表現したい場所は
表現出来ません
(この場合、雲と白文字は
表現出来ません)



一部 白版ありの場合 《白版》

K100%で作成
白インクを使用すると
後ろが透けにくくなるため
目立たせる事が出来ます